



藤本 みのる 通信

Vol 352

2020年6月22日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠853

電話/FAX 0554-56-7272

市の経済支援策・第2弾が全会一致で可決

私は一般質問で、新型コロナ危機に対し「思い切った経済支援をすべきだ」と求めました。小林市長は、大月市内の中小企業、事業者の状況について、「限定的なデータだが」と断りながら、数字を示して、「業種に限らず、多くの市内中小企業者が苦しい状況にあると認識」しているとして、「中小企業者への独自支援策を実施したい」と重要な答弁をしました。そして、予告通り最終日に1億8400万円規模の市独自の第二弾の経済支援策を発表し、市議会では全会一致で可決されました。

コロナ危機の影響があまりに広範にわたっているため、多くの人が支援の網の目から漏れてしまう可能性があるため、とにかく迅速な下支えをするために一律の現金給付が、急場をしのぐセーフティネットの役割を果たしています。それでも、思い切った経済支援には相応の理屈が必要ですので、私は、2年前に議会提案で制定した大月市内循環型経済推進条例の理念を生かして、「地域経済の持続的な発展のために、中小企業者の苦境に寄り添い、将来の回復を早めるために思い切った経済支援を行う」のだという理屈をしめました。

大月市独自の経済支援策・第2弾

(1億8400万円規模)

小中学生の給食費3ヶ月無償化

6～8月分の給食費徴収なし

ひとり親世帯応援特別給付金

国の給付金に上乗せして給付

子育て支援特別手当

国の10万円給付金から外れる新生児に1人10万円。令和2年4月28日～12月31日までに生まれた子
持続化応援支援金

売上50%以上減額で、国の持続化給付金を受給した市内の法人および個人事業者に1事業者10万円
(500事業所)

事業者応援金

大月市商工会に加入している法人及び個人事業者(未加入事業者も3年以上の加入を条件に支給)
1事業者5万円(800事業所)

商い応援商品券

フェイスシールドを配布

各種証明発行手数料を免除

【藤本みのる活動日誌】

6月18日(木) 市議会本会議・閉会日

6月24日(水) 山地防災県市合同パトロール(鳥沢地内視察)